令和８年 11 月吉日

（一社）LRRI 設立６周年記念フォーラムご案内

建設ネイチャーポジティブ：国内外で進むグリーンインフラ（NbS）の実践

ご関係各位

（一社）LRRI も設立して６年が経過し、７年目を迎えました。お陰様で活動を通じて少しずつ認知が広がって参りました。社是である“先義後利をもって利他共栄を目指す”を念頭において，地域国土の強靭化など，社会貢献を一層進めて参りますので引き続きご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

設立６周年の記念行事の一環として別紙のような記念講演会を予定しております。ご参加いただきますようご案内いたします。

― 記 ―

【日時】：令和８年 11 月 25 日（水）14:00 – 17:00

【場所】茨城県建設技術管理センター研修室（オンサイト＆オンライン（WEB）のハイブリッド開催）

・所在地： 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町 4195 番地

・TEL：029-227-5634 FAX：029-227-8558

・URL：https://www.ibakengi.or.jp/

【講演形式】オンサイト＆オンラインハイブリッド **（なお、オンライン参加の方には、別途、URL をご案内致しますの，オンサイト＆オンラインのどちらでご参加かを記載ください）**

【プログラム】

◆開会の挨拶：14:00-14:10　（一社）地域国土強靭化研究所

◆ご講演　（14:10 – 15:10，ご講義 50 分，質疑 10 分）

●講師：　中村圭吾様：土木研究所　流域水環境研究グループ長

●演題：　建設ネイチャーポジティブ：国内外で進むグリーンインフラ（NbS）の実践

＜休憩＞　15:10 -15:20

◆パネルディスカッション　15:20-16:40　グリーンインフラによる災害低減と地域国土強靭化（仮題）

＜パネリスト＞（敬称略）：　オンサイト参加

中村圭吾様（国立研究開発法人土木研究所　（講演者）

大槻順朗　山梨大学

足立雅樹　みらい建設工業㈱

雨貝　洋　㈱水戸グリーンサービス

中山貴弘　積水化成品工業㈱

自治体の方☛　（未定）

＜コメンテーター＞（敬称略）：　オンライン参加

浅田寛喜　熊本大学

沼田淳紀　日本木材地中活用推進協会

＜総括＞安原一哉　16:40 – 16:50

◆閉会の挨拶：16:50 – 17:00

＊総合司会：（一社）地域国土強靭化研究所　事務局長　伴夏男

【共同開催】
（公社）地盤工学会関東支部

【後援】

茨城大学 地球・地域環境共創機構（GLEC）

（一社）茨城県建設コンサルタンツ協会

（公社）土木学会関東支部茨城会

（一財）土木研究センター

（一財）茨城県県建設管理センター

【CPD】（公社）地盤工学会（2.5 ポイント）、（一社）建設コンサルタンツ協会（提供予定）

【参加料】無料（ただし、**CPD 申請のための出席証明書が必要な方のうち、会員：1000 円、非会員：2000 円**を徴収させていただきます。なお、余剰金が生じた場合は、運営経費や会場使用料として使用させていただきますのでご理解ください。）

なお、お申し込みは，＜別紙＞にありますように、下記のどちらかでご対応ください．（11 月 18 日まで）．なお、オンライン参加の方には、別途、URL をご案内致します．

1）**QR コードを利用した google form に必要事項を記載の上、送信**
2）**申込用紙に必要事項を記載の上、事務局宛て PDF を送付**

記念フォーラムリンク・QR コード

https://forms.gle/VFZ9kt1bmcL2zzwcA

～記念講演概要～

【演題】：建設ネイチャーポジティブ：国内外で進むグリーンインフラ（NbS）の実践

【講演者】：中村圭吾様（国立研究開発法人土木研究所　流域水環境研究グループ長、島根大学客員教授、東京理科大学客員教授）

【講演概要】：ネイチャーポジティブ（自然再興）は 2030 年までに生物多様性の損失を反転させることを掲げた国際目標であり、気候変動対策と並ぶ新たなグローバルアジェンダとして急速に対応が進んでいます。とりわけ建設分野は生物多様性損失要因の約 3 割を占めるとされ、国土強靭化にあたって、インフラ整備の在り方そのものが問われています。本講演では、書籍「建設ネイチャーポジティブ」に基づき、この課題に応答する形で国内外の政策・技術動向を話します。日本におけるグリーンインフラの取り組みや河川整備計画への環境定量目標の導入、新たな資金調達手法など最新の展開を紹介するとともに、英国の生物多様性ネットゲイン政策など国際的に先進的な事例もふれます。さらに、生物多様性クレジットを含むネイチャークレジットの可能性や「国土資本マネジメント」という新概念を提示し、建設分野が直面するリスクとチャンスを多角的に論じます。

参考文献：「建設ネイチャーポジティブ　これからの土木・建築ビジネスの必須教養」（日経 BP 社より）（2025 年 9 月出版）

＊関連する最近のご著書は、https://amzn.asia/d/03N3OIiU を参照ください。



【講演者ご略歴】：1971 年三重県紀北町（奇跡の川 銚子川の町）生まれ。1994 年大阪大学工学部土木工学科卒、同年建設省入省。ノルウェー道路公団（1992 年 IAESTE 研修員）、土木研究所河川環境研究室、スイス連邦工科大学(EAWAG/ETH)客員研究員、国土交通省河川計画課課長補佐、近畿地整・福井河川国道事務所長、土木研究所 河川生態チーム 上席研究員（兼 自然共生研究センター長）、公益財団法人リバーフロント研究所主席研究員等を経て現職。専門は、河川環境、生態工学。博士（工学）、技術士（建設部門）。主な著書に「建設ネイチャーポジティブ」（日経 BP）、「エコテクノロジーによる河川・湖沼の水質浄化」（ソフトサイエンス社）。日本を代表する執筆者 5000 人に選出（現代日本執筆者大事典第 5 期掲載）。いろいろな外国語を少し話す言語オタク。日本ビール検定 2 級。

